

## 障害福祉計画（第6期）の取組状況等について

## 【1】成果目標

## 〔1〕福祉施設の入所者の地域生活への移行

## ■福祉施設の入所者の地域移行者数の目標値と実績

令和元年度末 施設入所者数	令和5年度末 地域移行者数 目標値 A	令和4年度末まで の地域移行者数 B	B-A	達成率 B/A
128人	13人 移行率 9%以上	9人 移行率 7%	▲4人	69.23%

\*移行率：令和5年度末の国・大阪府の目標 令和元年度末施設入所者数の6%以上

## ■施設入所者数の削減数の目標値と実績

令和元年度末 施設入所者数 A	令和5年度末 施設入所者数の削減 数 目標値 C	令和4年度末 施設入所者数 B	削減者数 A-B=D 削減率 D/A	達成率 D/C
128人	削減数 3人 削減率 1.6%以上 施設入所者数 125人	129人	削減数 ▲1人 削減率 ▲1%	▲33%

\*削減率：令和5年度末の国・大阪府の目標 令和元年度末施設入所者数の1.6%以上

## 【評価】

令和4年度において、入所施設から4名が地域移行しましたが、新規入所者もいるため、施設入所者数そのものの削減は進んでいません。

地域における受け皿としてのサービス等の資源整備だけでなく、入所者本人や家族に対しての動機づけについても課題となっています。引き続き障害者地域自立支援協議会（地域移行・地域定着部会）の取組み等を通じ、地域移行の推進を継続するとともに、施設等への啓発や、入所者と地域生活を送る障害者との交流の機会を作るなどの取組みを行う必要があります。

[2] 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

①精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標値と実績

令和5年度末 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数
316日以上（大阪府全体）

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 316日以上

<p><b>【評価】</b>                  公表される数値が大阪府全体の数値となるため、市町村別の数値が把握できない項目になります。                  また、現時点で平成30年度（※）までが公表されるにとどまっており、令和4年度実績は不明であるため、直近年度における数値で評価が行えない状況ですが、平成30年度の実績は目標値を上回っています。この状況が継続するよう、引き続き関係機関と連携を行っていきます。</p> <p>※平成30年度実績 331日（大阪府全体）</p>
--

②精神病床における1年以上の長期入院患者数の目標値と実績

令和5年6月末 精神病床における1年以上の長期入院患者数	令和4年6月末 実績
318人	未公表

\*令和5年6月末の大阪府の目標 8,688人

<p><b>【評価】</b>                  未公表につき、次回以降の分科会で報告します。</p>
--

③精神病床における早期退院率（入院後3か月、6か月、1年各時点）の目標値と実績

令和5年度 精神病床における早期退院率 （入院後3か月、6か月、1年 各時点）
3か月時点69%以上、6か月時点86%以上、1年時点92%以上（大阪府全体）

\*令和5年度の国・大阪府の目標 入院後3か月時点69%以上、6か月時点86%以上、1年時点92%以上

<p><b>【評価】</b>                  公表される数値が大阪府全体の数値となるため、市町村別の数値が把握できない項目になります。                  また、現時点で平成30年度（※）までが公表されるにとどまっており、令和4年度実績は不明であるため、直近年度における数値で評価が行えない状況ですが、平成30年度の実績は目標値を下回っています。状況が改善するよう、引き続き関係機関と連携を行っていきます。</p> <p>※平成30年度実績 3か月時点65.3%、6か月時点82.3%、1年時点89.3%（大阪府全体）</p>
---

[3] 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

■地域生活支援拠点等が有する機能の充実の目標値と実績

令和5年度末 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
令和5年度（2023年度）末までの間、地域生活支援拠点等の機能について、 年1回以上運用状況を検証・検討する。

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和5年度末までの間、市域に1つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、年1回以上運用状況を検証・検討

<p><b>【評価】</b>                  地域生活支援拠点等の機能の運用状況等を検証・検討する場として、令和4年度から障害者地域自立支援協議会に「地域生活支援拠点等プロジェクトチーム」を設置しています。                  令和4年度は、「相談」・「緊急時の受け入れ・対応」を重点テーマとし、相談支援部会の座長、茨木市障害福祉サービス事業所連絡会などと連携しながら、年4回、検証・検討を行いました。</p>
---

[4] 福祉施設から一般就労への移行等

①福祉施設から一般就労への移行の目標値と実績

令和元年度 一般就労への移行者 数	令和5年度 一般就労への移行者数 目標値 A		令和4年度 一般就労への移行者 数 B	達成率 B/A
全体 50人 ※自立訓練2人含む	全体 64人	令和元年度対比 全体 1.27倍以上	全体 -人	
就労移行支援 34人	就労移行支援 46人	就労移行支援 1.30倍以上	就労移行支援 未集計	
就労継続支援A型 10人	就労継続支援A型 13人	就労継続支援A型 1.26倍以上	就労継続支援A型 未集計	
就労継続支援B型 4人	就労継続支援B型 5人	就労継続支援B型 1.23倍以上	就労継続支援B型 未集計	

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和元年度の一般就労への移行実績の全体1.27倍以上、就労移行支援1.30倍以上、就労継続支援A型1.26倍以上、就労継続支援B型1.23倍以上

<p><b>【評価】</b>                  未集計につき、次回以降の分科会で報告します。</p>
--

②就労定着支援事業に関する目標

■就労定着支援事業の利用者の割合の目標値と実績

令和5年度 就労定着支援事業の利用者の割合	令和4年度 実績
令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち70%以上	未集計

\*令和5年度末の国・大阪府の目標 令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち7割以上

【評価】

未集計につき、次回以降の分科会で報告します。

■就労定着支援事業所の就労定着率の目標値と実績

令和5年度 就労定着支援事業所の就労定着率	令和4年度 実績
就労定着率が80%以上の事業所が全体の70%以上	就労定着率が80%以上の事業所全体の60%

\*令和5年度末の大阪府の目標 令和5年度における就労定着率が8割以上の事業所が全体の7割以上

【評価】

市内就労定着支援事業所5事業所のうち3事業所（全体の60%）が就労定着率80%以上と令和4年度については、目標値を達成できていません。更なる向上のため関係機関間の連携強化の促進や情報共有等を行い、状況に注視していく必要があります。

③就労継続支援B型事業所における平均月額工賃の目標値と実績

令和5年度 平均月額工賃 目標値 A	令和4年度 平均月額工賃 B	達成率 B/A	過去3か年（R1～R3）の 平均月額工賃（参考）
14,490円	未集計	-	12,960円

\*令和5年度の大阪府の目標 個々の就労継続支援B型事業所において設定した目標工賃を踏まえた額

【評価】

未集計につき、次回以降の分科会で報告します。

[5] 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

■障害福祉サービス等の質を向上させるための取組の目標値と実績

令和5年度 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組
令和5年度末までの間、研修を充実し、障害福祉サービス等に係る審査支払、指導監査に係る情報の共有体制を構築する。

【評価】

障害福祉サービス等に係る審査支払について、毎月の請求データの確認時に事業所等に対し、エラー項目に関して共有を行うとともに修正を促しました。今後も、引き続き適切に請求がなされるよう取り組んでいく必要があります。

指導監査に係る情報の共有体制の構築については、昨年度北摂七市三町障害福祉担当課長会議（書面開催）で各市における事業所に対する実地指導の実施状況や指摘事項等の事例共有を行いました。

【2】活動指標

〔1〕自立支援給付

Ⅰ 訪問系サービス

(単位：上段は人、下段は時間)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	居宅介護	166	173	104%	174	176	101%	183	-	-
		5,161	5,706	111%	5,419	6,056	112%	5,690	-	-
	重度訪問介護	23	21	91%	24	21	88%	26	-	-
		8,567	7,660	89%	8,995	7,358	82%	9,445	-	-
	同行援護	71	64	90%	72	66	92%	73	-	-
		1,826	1,629	89%	1,857	1,747	94%	1,889	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	0	-	0	-	-	
	0	0	-	0	0	-	0	-	-	
知的障害者	居宅介護	90	98	109%	94	103	110%	99	-	-
		973	969	99%	1,019	1,034	101%	1,067	-	-
	重度訪問介護	5	3	60%	5	2	40%	6	-	-
		1,237	996	81%	1,423	988	69%	1,637	-	-
	行動援護	2	3	150%	2	3	150%	3	-	-
		106	94	89%	116	130	112%	128	-	-
重度障害者 等包括支援	1	0	0%	1	0	0%	1	-	-	
	75	0	0%	75	0	0%	75	-	-	
精神障害者	居宅介護	213	230	108%	222	240	108%	231	-	-
		2,618	2,843	109%	2,749	2,940	107%	2,886	-	-
	重度訪問介護	1	0	0%	1	0	0%	1	-	-
		68	0	0%	72	0	0%	75	-	-
	行動援護	0	0	-	0	1	-	0	-	-
		0	0	-	0	31	-	0	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	0	-	0	-	-	
	0	0	-	0	0	-	0	-	-	
障害児	居宅介護	25	28	112%	26	29	112%	26	-	-
		341	391	115%	352	399	113%	363	-	-
	同行援護	1	1	100%	1	0	0%	1	-	-
		24	30	125%	24	0	0%	24	-	-
	行動援護	0	0	-	0	0	-	0	-	-
		0	0	-	0	0	-	0	-	-
重度障害者 等包括支援	0	0	-	0	0	-	0	-	-	
	0	0	-	0	0	-	0	-	-	

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用時間」

【評価】

居宅介護の令和3年度、4年度の利用者数及び月平均時間の実績は見込み量を上回っています。  
 重度訪問介護、同行援護の実績については、令和3年度と比較し令和4年度の利用者数は減少しているものの、一人当たりの利用時間は増加しています。

2 短期入所

(単位：上段は人、下段は人日)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	45	34	76%	48	39	81%	52	-	-
	225	178	79%	240	212	88%	257	-	-
知的障害者	146	98	67%	150	106	71%	153	-	-
	685	479	70%	701	461	66%	717	-	-
精神障害者	6	6	100%	6	5	83%	7	-	-
	20	25	125%	22	27	123%	24	-	-
障害児	43	29	67%	44	33	75%	44	-	-
	178	112	63%	182	115	63%	185	-	-

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」

【評価】

短期入所については、新型コロナウイルス感染症の影響により見込量に比べて実績が減少となっていますが、令和3年度に比べて令和4年度の実績は月間の平均利用人数が増加となっています。

3 日中活動系サービス

(単位：上段は人、下段は人日)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	生活介護	133	131	98%	137	138	101%	140	-	-
		2,305	2,270	98%	2,363	2,356	99%	2,422	-	-
	自立訓練 (機能訓練)	4	4	100%	4	4	100%	5	-	-
		55	47	85%	57	43	75%	60	-	-
	就労移行支援	10	6	60%	10	6	60%	10	-	-
		162	114	70%	170	95	56%	178	-	-
	就労継続支 援(A型)	27	28	104%	29	30	103%	30	-	-
463		525	113%	477	562	118%	491	-	-	
就労継続支 援(B型)	52	61	117%	54	71	131%	55	-	-	
	813	977	120%	836	1,165	139%	859	-	-	
就労定着支援	4	4	100%	4	4	100%	5	-	-	
知的障害者	生活介護	442	415	94%	448	422	94%	455	-	-
		7,843	8,012	102%	7,961	8,151	102%	8,080	-	-
	自立訓練 (生活訓練)	16	12	75%	17	16	94%	17	-	-
		243	205	84%	255	265	104%	267	-	-
	就労移行支援	21	23	110%	22	19	86%	23	-	-
		353	376	107%	367	314	86%	381	-	-
	就労継続支 援(A型)	42	45	107%	44	57	130%	46	-	-
762		864	113%	800	1,048	131%	840	-	-	
就労継続支 援(B型)	265	265	100%	276	278	101%	287	-	-	
	4,710	4,756	101%	4,876	4,969	102%	5,047	-	-	
就労定着支援	13	11	85%	13	9	69%	14	-	-	
精神障害者	生活介護	37	39	105%	39	45	115%	41	-	-
		416	484	116%	437	552	126%	458	-	-
	自立訓練 (生活訓練)	10	5	50%	10	6	60%	10	-	-
		118	53	45%	124	46	37%	130	-	-
	就労移行支援	71	80	113%	75	79	105%	79	-	-
		1,221	1,322	108%	1,282	1,337	104%	1,346	-	-
	就労継続支 援(A型)	78	90	115%	82	90	110%	86	-	-
1,359		1,556	114%	1,427	1,571	110%	1,498	-	-	
就労継続支 援(B型)	134	144	107%	141	156	111%	148	-	-	
	1,683	1,965	117%	1,767	2,125	120%	1,856	-	-	
就労定着支援	35	37	106%	36	38	106%	38	-	-	
療養介護		20	22	110%	20	23	115%	21	-	-

\*数値、上段は月間の平均利用人員、下段は「月間の平均利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」

【評価】

各サービス、概ね見込量を上回る実績となっています。中でも、就労継続支援A型、就労継続支援B型の増加率が高く、令和4年度実績についても令和3年度実績、令和4年度見込みと比較しても増加となっています。就労継続支援A型については精神障害者の割合が51%、就労継続支援B型については知的障害者の割合が55%とそれぞれ高い割合を占めています。

4 居住系サービス

(単位：人)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	自立生活援助	0	0	-	0	0	-	0	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	10	13	130%	10	15	150%	10	-	-
	施設入所支援	32	31	97%	31	32	103%	31	-	-
知的障害者	自立生活援助	3	0	0%	4	0	0%	5	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	233	244	105%	245	261	107%	257	-	-
	施設入所支援	93	96	103%	92	92	100%	91	-	-
精神障害者	自立生活援助	0	0	-	0	0	-	0	-	-
	共同生活援助 (グループホーム)	47	55	117%	50	56	112%	52	-	-
	施設入所支援	3	2	67%	3	4	133%	3	-	-

\*数値は月間の平均利用人員

【評価】

区分ごとに差異はあるものの、合計値で見た場合、施設入所支援の平均利用人員は同水準、共同生活援助の平均利用人員は増加傾向にあります。グループホームの整備にあたっては、計画相談支援の充実や地域生活支援拠点の機能整備によって、「どこで暮らしたいか」という希望を反映できるとともに、重度の障害のある方の選択肢となれるよう検討を進めていく必要があります。なお、居宅での生活を支える自立生活援助については、制度当初より実績がないため、利用につながるよう検討する必要があります。

5 相談支援（計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援）

（単位：人）

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	計画相談支援	160	166	104%	168	174	104%	176	-	-
	地域移行支援	2	0	0%	2	0	0%	3	-	-
	地域定着支援	0	0	-	0	0	-	0	-	-
知的障害者	計画相談支援	332	389	117%	348	419	120%	366	-	-
	地域移行支援	2	0	0%	2	0	0%	3	-	-
	地域定着支援	1	0	0%	1	0	0%	1	-	-
精神障害者	計画相談支援	200	214	107%	210	216	103%	220	-	-
	地域移行支援	1	1	100%	1	0	0%	1	-	-
	地域定着支援	2	0	0%	3	0	0%	5	-	-
障害児	計画相談支援	2	0	0%	2	0	0%	2	-	-

\*計画相談支援は実利用人数

\*地域移行支援、地域定着支援は年間の利用人員

【評価】

計画相談の利用人数は、令和3年度の実績と比較して令和4年度の実績は増加となっており、また、令和4年度の見込量を上回っている状況です。しかし、令和5年3月31日現在の支給決定障害者の計画相談利用率は37.5%にとどまっており、個別の障害者ケアマネジメントを必要とされる方が相談支援専門員の不足により必要な支援が受けられていない現状があります。そのため、計画相談支援については、令和3年度から相談支援事業所開設等補助を実施し計画相談支援の普及に向け利用人数の増加を目指しています。

地域移行支援については、令和3年度に精神障害者について1件実績があったことによって見込量と同水準となりましたが以降の実績はなく、地域定着支援含め見込量を下回る結果となっています。施設入所者、精神科病院に入院している方及び支援者に対する制度の周知・利用を強化する必要があります。

〔2〕精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数	回/年	6	7	117%	6	7	117%	6	-	-
保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加者数	人/年	36	68	189%	36	89	247%	36	-	-
保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数	回/年	6	7	117%	6	7	117%	6	-	-

【評価】

障害者地域自立支援協議会の地域移行・地域定着部会（精神科病院チーム）を協議の場として位置付けており、各項目とも見込量を上回っています。

引き続き、関係機関と連携を行いながら、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めて参ります。

〔3〕相談支援体制の充実・強化のための見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
基幹相談支援センターの設置	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-
地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言	件/年	16	19	119%	16	17	106%	16	-	-
地域の相談支援事業者の人材育成の支援	件/年	2	1	50%	2	2	100%	2	-	-
地域の相談機関との連携強化の取組	回/年	2	0	0%	6	6	100%	10	-	-

【評価】

各項目とも進捗率が100%を超える結果となっております。

引き続き、相談支援体制の充実・強化を図るため、相談支援事業者との連携を強化するとともに、相談支援事業者への訪問や基幹相談支援センターが実施する研修などを通じ、専門的な指導・助言、人材育成の支援を行って参ります。

また、近年増加している複合的な課題等にも対応するため、地域の相談機関との連携強化の取組も引き続き行って参ります。

〔4〕障害福祉サービスの質を向上させるための取組に係る見込みと確保の方策の見込量と実績

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害福祉サービス等に 係る各種研修の活用	人/年	64	52	81%	64	51	80%	64	-	-
障害者自立支援審査 支払等システムによる 審査結果の共有	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-
	回/年	12	12	100%	12	12	100%	12	-	-
障害福祉サービス事業所等 に対する指導 監査の結果の共有	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-
	回/年	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-

【評価】

●大阪府が実施する「市町村障がい福祉担当新任職員研修」を始め、様々な研修に参加し、職員の障害福祉サービス等に関する知識や技術等の向上に努めました。また、各事業所においても、職員の支援技術等の向上に取り組めるよう、大阪府等が実施する研修の情報提供等を行いました。引き続き、障害福祉サービスの質向上に向け、取り組んでいきます。

●障害福祉サービス等に係る審査支払について、毎月の請求データの確認時に事業所等に対し、エラー項目に関して共有を行うとともに修正を促しました。今後も、引き続き適切に請求がなされるよう取り組んでいく必要があります。

●指導監査に係る情報の共有体制の構築については、昨年度北摂七市三町障害福祉担当課長会議（書面開催）で各市における事業所に対する実地指導の実施状況や指摘事項等の事例共有を行いました。

〔5〕 地域生活支援事業

1 理解促進研修・啓発事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
理解促進研修・啓発事業	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-

【評価】

障害者地域自立支援協議会開催の研修会や障害者週間関連事業として毎年開催している「障害者の手づくり作品展」等のイベントなどを通じて、市民等の障害理解を深める研修や啓発を推進しています。

「障害者の手づくり作品展」について、令和4年度は、他のイベントと協働し実施することでより多くの市民の方に見ていただくことができました。引き続き、より市民等に行き渡る啓発手法の検討を行っていきます。

2 自発的活動支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
自発的活動支援事業	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-

【評価】

「ピアカウンセラー養成講座」の開催や障害者地域自立支援協議会当事者部会の運営、障害当事者交流会の開催など、市民等が行う自発的な活動に対する支援を実施しています。

3 相談支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害者相談支援事業	か所	10	10	100%	10	10	100%	14	-	-
基幹相談支援センター	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-
基幹相談支援センター等機能強化事業	有無	有	有	100%	有	有	100%	有	-	-

【評価】

障害者相談支援事業については、令和元年度から市内5つの圏域を細分化した14エリアに障害者相談支援センターを整備してきました。障害者相談支援センターは、地域で開催される会議への参加等を通じ、地域住民の身近な相談場所として活動しています。

基幹相談支援センター等機能強化事業については、複数の専門職を配置して、相談支援機能の強化を図っています。

本市域の相談支援専門員の多くが市町村相談支援事業や自立支援協議会等の地域づくりの活動に従事する一方、計画相談支援の利用者数が少ないこと、市町村相談事業の多くがサービス利用を主訴とした障害者が利用することから、様々な角度からの検討が必要です。

#### 4 成年後見制度利用支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
成年後見制度利用支援事業	人	12	13	108%	13	12	92%	15	-	-

\*数値は年間の利用人数

##### 【評価】

令和4年度実績値は、概ね見込量どおりの利用実績となっています。  
引き続き、障害者相談支援事業所等と連携するなどし、対象となる利用者の把握に努めるとともに制度の周知を図り、利用促進に努めます。

#### 5 意思疎通支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
手話通訳者派遣事業	件	2,503	2,254	90%	2,648	1,845	70%	2,801	-	-
	時間	2,657	2,448	92%	2,793	1,993	71%	2,937	-	-
要約筆記者派遣事業	件	30	14	47%	33	17	52%	37	-	-
	時間	82	129	157%	86	191	222%	91	-	-
手話通訳者設置事業	人	5	5	100%	5	4	80%	5	-	-

\*数値は年間量

##### 【評価】

手話通訳者派遣事業については、設置の手話通訳士の欠員に伴い、通訳者派遣について調整をせざるを得ない状況が続いたことなどにより、前年度と比較し、派遣件数が減少しました。

要約筆記者派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、依頼件数は増加しました。

今後も合理的配慮の推進に伴う利用の拡大に向け、手話通訳等に従事する人材の確保・養成の推進が求められます。

## 6 日常生活用具給付等事業

(単位：件)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
介護・訓練支援用具	23	28	122%	24	23	96%	26	-	-
自立生活支援用具	43	68	158%	44	67	152%	44	-	-
在宅療養等支援用具	61	70	115%	64	47	73%	67	-	-
情報・意思疎通支援用具	41	48	117%	42	55	131%	42	-	-
排せつ管理支援用具	4,921	7,893	160%	4,970	7,106	143%	5,020	-	-
住宅改修費	3	8	267%	3	7	233%	3	-	-

\*数値は年間量

\*排せつ管理支援用具（ストーマ装具、紙おむつ等）については、給付月分の件数(1か月分を1件として計上)

### 【評価】

見込量と大きく乖離のある実績値については、今後の実績値の推移を特に注視する必要があります。

引き続き、「障害者福祉のてびき」等を活用し、制度周知を図り、用具等の給付が必要な方に対して、適切に給付できるよう、努めていきます。

## 7 手話奉仕員養成研修事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
手話奉仕員養成研修事業	人	60	46	77%	60	45	75%	60	-	-

\*数値は年間の養成研修修了者数

### 【評価】

令和4年度実績値については、前年度と比較し概ね同じ人数となっています。

手話通訳者や手話奉仕員は、意思疎通を図る上で大切な役割を果たしていますが、手話通訳者や手話奉仕員を養成するためには、長い期間が必要になるため、今後を見据えて、研修事業の参加者の増加を図る必要があります。

## 8 移動支援事業

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
身体障害者	人	116	70	60%	117	75	64%	119	-	-
	時間	19,544	14,705	75%	19,739	15,520	79%	19,936	-	-
知的障害者	人	427	225	53%	434	271	62%	441	-	-
	時間	70,073	42,255	60%	71,194	52,849	74%	72,333	-	-
精神障害者	人	90	63	70%	95	75	79%	100	-	-
	時間	10,743	11,920	111%	11,280	12,909	114%	11,844	-	-
障害児	人	97	34	35%	98	40	41%	100	-	-
	時間	6,147	4,119	67%	6,219	4,768	77%	6,293	-	-

\*上段は月当たりの平均利用者数 下段は年間延べ利用時間数

### 【評価】

サービスの利用人数・利用時間ともに増加傾向となっております。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、外出機会の増に伴い、サービス利用が伸びることが想定されます。

精神障害者の外出や社会参加への支援ニーズの高まりがうかがえ、精神障害者への支援スキルを持ったガイドヘルパーの養成を進めるとともに、社会全体の障害理解の高まりが必要です。

65歳を超え、介護保険を利用する障害者においても、制度の利用が進んでいます。

## 9 地域活動支援センター

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
利用人数	人	237	190	80%	240	202	84%	242	-	-
I型	か所	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-
II型	か所	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-
III型	か所	2	2	100%	2	2	100%	2	-	-

\*数値は年間量

### 【評価】

地域活動支援センターI型、II型、III型は見込量どおりの設置となっております。III型については、令和3年度より基本報酬と加算を拡充することにより、事業を継続するとともに、インセンティブを働かせ利用者の増やサービスの質の向上を目指していますが、令和3・4年度利用実績については、令和2年度実績とほぼ同水準で推移している状況です。地域活動支援センターは、障害者が地域で生活するための大切な居場所のひとつであり、引き続き他の制度やサービスと合わせて活動の充実に取り組めます。

10 その他の事業（任意事業）

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
訪問入浴サービス事業	人	60	65	108%	61	64	105%	62	-	-
日中一時支援事業	人	1,554	1,289	83%	1,570	1,240	79%	1,586	-	-
	人日	1,712	1,464	86%	1,729	1,408	81%	1,746	-	-

\*数値は年間量

【評価】

訪問入浴サービス事業は、昨年度と比較すると利用実績は横ばいとなっておりますが、令和4年度の実績は、利用者の増加に伴い見込量を上回っています。

日中一時支援事業は、近年見込量を上回る実績で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から実績値が減少しており、令和4年度においても見込量を下回っています。

日中一時支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により近年の利用実績は減少傾向ではあるものの、長期的には、日中就労している主たる介護者の増、障害児であったときの放課後デイサービスに変わる夕刻から夜間までの介護ニーズを満たす手段の一つとして、利用者は増加傾向にあり、日中の居場所としての重要な役割を果たしております。

## 障害児福祉計画（第2期）の取組状況等について

### 【1】成果目標

#### 〔1〕児童発達支援センター

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
福祉型児童発達支援センター	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-
医療型児童発達支援センター	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-

#### 【評価】

福祉型児童発達支援センターとして「あけぼの学園」、医療型児童発達支援センターとして「藍野療育園」がそれぞれ設置されており、市内における障害児支援の拠点として活用されています。今後、児童福祉法の改正も見据えながら、児童発達支援センターの機能の充実を引き続き進める必要があります。

#### 〔2〕保育所等訪問支援

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
保育所等訪問支援事業所数	3	3	100%	4	5	125%	5	-	-

#### 【評価】

実施できる事業所は市内に5か所あり、計画における目標は達成されています。ニーズの動向に注視しながら、受け入れ側となる保育所、幼稚園、学校への周知を進めていきます。

#### 〔3〕医療的ニーズへの対応

（単位：か所）

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所数（医療型児童発達支援センターを含む）	4	4	100%	4	5	125%	5	-	-
主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所数	4	4	100%	4	7	175%	5	-	-

#### 【評価】

児童発達支援、放課後等デイサービスとも、受入体制の確保はできていると考えています。計画上の目標は達成されていますが、今後も提供体制の維持・充実に努める必要があります。

〔4〕 医療的ケア児支援のための保健・医療・福祉・保育・教育等関係機関の協議の場の設置

(単位：か所)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
関係機関の協議の場	1	1	100%	1	1	100%	1	-	-

〔5〕 コーディネーターの配置

(単位：人)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率	目標値	実績値	進捗率
コーディネーターの配置	1	1	100%	2	2	100%	2	-	-

【評価】

協議の場に位置づけている障害者地域自立支援協議会の子ども支援プロジェクトチームでは、医療的ケアが必要な子どものさまざまな場面での状況を知るため、医療的ケア児等コーディネーターと共に、意見交換や医療的ケアに関する研修会、プロフィールブック（いばらきっ子ファイル）の作成などを実施しました。また、関係機関との情報交換の場も設けました。

## 【2】活動指標

### 〔1〕障害児通所支援

サービス等種別		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
児童発達支援	人	500	523	105%	500	622	124%	500	-	-
	人日	2,500	2,615	105%	2,500	3,110	124%	2,500	-	-
医療型児童発達支援	人	90	63	70%	90	62	69%	90	-	-
	人日	630	315	50%	630	310	49%	630	-	-
放課後等デイサービス	人	1,280	1,326	104%	1,330	1,486	112%	1,380	-	-
	人日	9,250	6,630	72%	10,200	7,430	73%	11,200	-	-
保育所等訪問支援	人	32	18	56%	40	28	70%	48	-	-
	回	26	18	69%	28	28	100%	30	-	-
居宅訪問型児童発達支援	人	5	3	60%	5	2	40%	5	-	-
	回	5	7	140%	5	6	120%	5	-	-

\*数値、上段は1か月当たりの利用人員、下段は「月間の利用人員」×「1人当たりの月平均利用日数」

\*「回」は、「月間の利用人員」×「1人当たりの月平均利用回数」

#### 【評価】

児童発達支援及び放課後等デイサービスについては申請件数の増に伴い利用者数が増加し、保育所等訪問支援については提供事業所数の増に伴い利用者数が増加しました。医療型児童発達支援や居宅訪問型児童発達支援については、利用者数の顕著な伸びは見られませんでした。

### 〔2〕障害児相談支援

(単位：人)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害児相談支援	118	96	81%	138	91	66%	158	-	-

\*障害児相談支援は1か月当たりの利用人員（モニタリング含む）

#### 【評価】

実績値は減少しており、誰もが利用できる状況には至っていません。相談支援専門員の確保と育成を図り、提供体制の拡充に努める必要があります。

〔3〕発達障害児等に対する支援

○ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数

(単位：人/年)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	12	8	67%	18	17	94%	24	-	-

【評価】

令和4年度からペアレント・プログラムを実施し、家族支援のためのプログラムの充実を図ることにつながったといえます。今後も継続した取り組みのために、周知等に力を入れていく必要があります。

○ピアサポート活動への参加人数

(単位：人/年)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
ピアサポート活動への参加人数	2	2	100%	3	2	67%	4	-	-

【評価】

昨年度に引き続き、参加者からは具体的でわかりやすく、参加して良かったという意見が多く聞かれました。今後も継続して実施していきます。

〔4〕地域生活支援事業（障害児通学支援）

(単位：上段は人、下段は時間)

サービス等種別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率	見込量	実績値	進捗率
障害児通学支援	10	15	150%	11	13	118%	12	-	-
	600	851	142%	660	1,093	166%	720	-	-

\*上段は月当たりの平均利用者数 下段は年間延べ利用時間数

【評価】

事業の認知が広がったことで実績値は計画における見込量を上回っています。今後も利用者のニーズや提供事業者の状況を注視し、提供体制の継続に努める必要があります。